

川内川水系学識者懇談会について

平成29年8月18日

1) 懇談会の目的

1. 整備計画内容の点検を継続的に実施する

- 流域の社会情勢の変化、地域の意向
- 事業の進捗状況及び見通し
- 河川整備に関する新たな視点（地震津波対策等） など

2. 整備計画変更の必要性が生じた場合に**変更原案に対して意見を伺う**

3. なお、内容の点検の中において、3年に一度実施する**事業再評価(継続や見直し等)**や**事業完了後5年以内**に実施する**事後評価**について九州地方整備局長が設置する**事業評価監視委員会**に代わって**審議**を行う

2) 事業評価の目的と懇談会の位置付け

1. 事業評価の目的

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業採択後一定期間を経過した事業等の評価を行い、必要に応じ、その見直しを行うほか、事業の継続が適当と認められない場合には事業を中止するものである。

2. 事後評価の目的

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業完了後の事後評価を行い、事業の効果、環境の影響等の確認を行い、必要に応じ、適切な改善措置を検討するとともに、事後評価の結果を同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直し等に反映することを企図するものである。

3. 事業評価監視委員会

事業評価の実施主体の長は、再評価、事後評価に当たって事業評価監視委員会を設置し、意見を聴き、その意見を尊重するものとする。

4. 懇談会の位置付け

河川事業、ダム事業については、河川整備計画策定後、計画内容の点検のために学識経験者等から構成される委員会等が設置されている場合は、事業評価監視委員会に代えて当該委員会で審議を行うものとする。

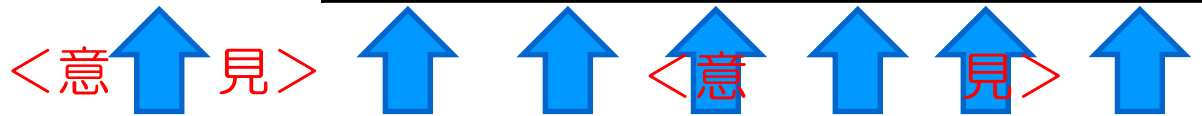
※. 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(H23)抜粋

3) 今後の予定(懇談会の役割)

川内川水系河川整備計画の点検・変更等

			H19 ~H21
計画の 点検	点検		
	事業 評価	改修	
		環境	
		ダム	
計画の 策定・変更	策定		●
	変更		

H25	H26	H27	H28	H29	H30
	●		●	●	
	●			●	
●			●		
●			●		
(必要な場合に変更を実施)					



川内川学識者懇談会

- 平成19年12月～平成21年2月まで開催
- 計4回開催

- 平成26年8月に設置
- 点検に関しては事業評価に合わせて実施
- 計画を変更する際は集中的に開催